

広報 仁木

北海道仁木町広報紙／令和8年9月10日発行 通算860号

令和8年
2026

9

特集
災害から命を守るために

災害から命を守るために

そのとき、どうする？

●今年の8月、千葉県を襲った記録的な大雨は、浸水や土砂災害など大きな被害をもたらしました。また、近年は全国的に大きな地震が発生するなど、災害はいつ、どこで発生するか分かりません。●9月1日は「防災の日」。防災について考え、備えを確認する日です。この日をきっかけに、いま一度、防災について考えてみませんか？

災害が起きる前に

行動の妨げになる「正常性バイアス」

「まだ大丈夫」が危ない

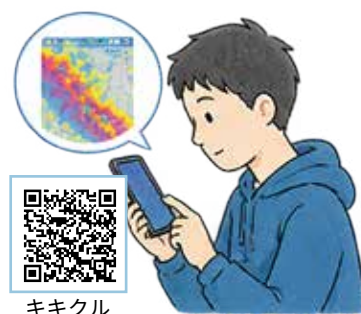
人は異常事態に直面すると、「大きな問題は起きていない」と考えてしまう傾向があり、これを「正常性バイアス」と呼びます。災害時、「まだ大丈夫」と思い込み、避難のタイミングを逃してしまつと、重大な事態に陥る危険性があります。

正常性バイアスにとらわれず、日頃から正しい情報を収集し、災害に備え、最悪の事態を想定した行動を取れるよう、心がけることが大切です。

集 正しい情報を集めましょう！ 「キキクル」を活用しましょう！

災害時には様々な情報が耳に入り、行動に混乱をきたしてしまう可能性があります。「キキクル」は、大雨による災害の危険度を地図上で確認できる気象庁の情報サイトです。情報は10分ごとに更新され、現在地や周辺の状況を随時確認することができます。

正しい情報をもとに、早めに判断することが命を守ります。



キキクル

備 災害時に落ち着いて行動できるように 日頃から災害に備えよう！

災害時に落ち着いて行動できるよう、以下のポイントについて日頃から備えましょう。

- ✓ 持出品や備蓄品（目安／3日分）を準備
- ✓ 周辺の災害リスクをハザードマップで確認
- ✓ 避難場所や避難経路を確認
- ✓ 家族や地域の方と連絡方法を決める
- ✓ 情報収集の方法を確認

「ローリングストック」のすすめ

普段使いの食品や日用品を少し多めに備え、使った分を買い足す備蓄方法です。無理なく続けられ、災害時にも役立ちます。

買う ▶ 使う ▶ 買い足す

「ローリングストック」で防災備蓄を始めませんか？



動 早めの避難行動を！ 避難行動のタイミングは？

気象情報、警戒レベルなどの災害情報を確認し、危険を感じたら早めの避難行動をとりましょう。

警戒レベル 1 早期注意情報 災害への心構えを高めましょう！	警戒レベル 2 各種注意報 避難情報・行動を確認し、備えを整えましょう	警戒レベル 3 各種警報 高齢者等は早めの避難を！その他の方も避難準備！	警戒レベル 4 各種危険警報 危険な場所から全員避難を！	警戒レベル 5 各種特別警報 命の危険！直ちに安全確保！
--	---	--	--	--

災害が起きた後は

「自助」・「共助」・「公助」の連携で災害対応 災害が起きたらどうする？

大雨や地震などの災害は、いつどこで発生するか分かりません。いざというとき、情報や指示を待っているだけでは避難が間に合わない（こも）考えられます。

災害から身を守るには、まずは自身が安全を確保する「自助」、地域で声を掛け合い、助け合う「共助」、そして町や消防、警察などが行う「公助」、それぞれの力が連携することが大切です。

特に災害発生直後は、すぐに公的な支援が届かない場合もあります。だからこそ、一人ひとりの備えと、地域のつながりが大きな力となります。

災害が起きたとき、あなたはどの動きますか？「自分の命を守る」ことから災害への対応を始めましょう。



自 災害対応の基本「自助」 自分の命は、自分で守る

災害が起きたとき、まず大切なのは「自助」です。自分自身や家族の安全を確保し、危険を感じたら早めに避難する。そのためにも、普段から災害時の行動を考えておくことが重要です。

- ✓ 防災情報を確認する
- ✓ 家族の安全を確保する
- ✓ 避難生活に必要なものを備える
- ✓ 危険を感じたら早めに避難する



共 地域で助け合う「共助」 地域みんなで助け合う力

災害では、支援がすぐに届かないことも。そんなとき地域のつながりが、大きな力になります。

- ✓ 近所で声を掛け合う
・お互いの安否を確認し、必要な情報を共有しましょう。
- ✓ 避難に支援が必要な人を気にかける
・高齢者や障がいのある方、乳幼児など支援が必要な方に声をかけましょう。
- ✓ 地域でできることを考える
・日頃から顔の見える関係をつくり、助け合える地域をつくりましょう。



自主防災組織

地域の皆さんが主体となり、日頃から防災活動に取り組み、災害時には地域で助け合うための組織です。



公 行政が支える「公助」 「自助」・「共助」、そして「公助」

災害時には、自助、共助、公助が、それぞれの役割を果たすことが重要です。「自分で守る」、「地域で助け合う」、「行政が支える」。それぞれの力が連携することで、災害への対応力を高めることができます。



防災は「今、このとき」から

災害が起きたとき、私たちは必ず判断を迫られます。だからこそ、日頃からの備え、情報収集、早めの判断、助け合いがなにより大切です。防災は「今、このとき」から。自分や家族、地域のことを考え、防災対策を始めましょう！





「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行の防止と、過ちを犯した人たちの立ち直りについて理解を深め、地域の力で安全で安心な明るい社会を築いていく全国的な運動です。

この運動の一環として、町内の児童・生徒を対象に標語を募集。集まった標語には、明るく安心して暮らせる地域への願いが込められています。

第76回「社会を明るくする運動」 仁木町代表作品

ありがとう その一言で 救われる
仁木小学校6年 守田 千咲

ちょっとまって そのこうどう いいのかな
銀山小学校5年 那須 麻央

流されず 気づいて守る 自分の未来
仁木中学校2年 白川 夕葵

SNS どう使うかは あなた次第
銀山中学校2年 西坂 一都

第76回「社会を明るくする運動」北後志 標語の部入賞作品

●小学生の部 金賞受賞

かわるのは まわりじゃなくて 自分から
仁木小学校6年 阿久津太響

●中学生の部 金賞受賞

困っている？ 頼っていいよ？ 支えるよ
仁木中学校1年 菅森 そら



なかよしクラブ・安心警ら隊 農作物盗難防止パト実施

7月23日・8月27日に、町内ボランティア団体のなかよしクラブ・安心警ら隊（中川博喜隊長）が、余市警察署と協力し農作物盗難防止パトロールを実施しました。

当日は、余市警察署含むパトライト車両で町内農地を巡回し、不審な車両や人物がいらないか確認、農作物盗難防止に向け警戒を行いました。

農作物の盗難防止には、農家の皆さんだけでなく、地域全体が見守ることが重要です。不審な車両や人物を見かけたら、余市警察署（22-0110）までお知らせください。

仁木町交通安全推進委員会 「バイクの日」啓発

8月19日の「バイクの日」に合わせ、仁木町交通安全推進委員会（会長／佐藤町長）が、町内で交通安全啓発活動を行いました。

夏の行楽シーズン真っ只中となった当日は、交通安全指導員と余市警察署員が、町に立ち寄ったライダー、ドライバー一人ひとりに啓発グッズと町特産のブルーンをプレゼントし、交通事故のない町づくりに向け交通安全を呼びかけました。



大正琴サークル「みずす会」 美しい大正琴の音色



町内の大正琴サークル「みずす会」。7人の会員が月2回、第1・3土曜日に活動しています。

演奏楽曲は、「薔薇が咲いた」、「真夜中のギター」、「紅葉」、「知床旅情」など往年の名曲が中心。この日も稽古場には大正琴の美しい音色が響いていました。

気さくで朗らかな会員の皆さんと、大正琴を楽しんでみませんか。団員募集については、教育委員会までお問い合わせください。

町で起こった あんな事! こんな事!



まちの話題

町内のできごと、行事、イベントなどを写真付きでご紹介します!

町では、広報紙、ホームページ、SNSなどへ掲載のため、撮影・取材活動を行っています。
皆さまのご理解とご協力をお願いします。

8月4日、5日の2日間、仁木町社会福祉協議会が、にぎ小型児童館・放課後児童クラブで夏祭りを開催し、子どもたちは夏のひとときを楽しみました。

4日は、仁木町社会福祉協議会や有志の保護者、北海道大学のボランティア学生らの協力により、綿あめやかき氷、フランクフルトなどの飲食コーナーをはじめ、ヨーヨー釣りや射的などのゲームコーナーが登場。子どもたちは友達と一緒に、思いのコーナーを楽しみました。

5日は、社会福祉協議会がお化け屋敷を企画。子どもたちが手作りした仕掛けやお化けが登場し、お化け役として参加する子もいるなど、会場は大いに盛り上がりました。

地域の大人や大学生など、多くの人たちの協力によって実現した今回の夏祭り。子どもたちの笑顔と歓声が、夏の児童館に溢れていました。



①昔ながらのヨーヨー釣りや射的のゲームに、子どもたちは大喜び②お祭りといえばやっぱり綿あめ③もちろん納涼お化け屋敷も。凝った仕掛けに悲鳴があがった?

仁木町社会福祉協議会 子どもたちの笑顔溢れる夏祭り

にき果実とやすらぎの里大使 侍ジャパン井口監督、町内で野球教室

7月30日、にき果実とやすらぎの里大使で、今年の7月に、野球日本代表「侍ジャパン」の監督に就任した井口資仁さんが、恒例となった野球教室をコンサドーレ仁木パーク野球場で行いました。

野球教室には、町内外から約30名の小中学生が参加し、打撃、守備などを丁寧に教わ

りました。

また、教室には北海道出身の元プロ野球選手、杉山俊介さんも参加し、日本を代表する指導者から、直接指導を受ける貴重な機会となり、参加した子どもたちは、野球の楽しさと上達する喜びを感じながら、野球場いっぱい元気な声を響かせていました。



①②野球教室での井口さんと杉山さん。③千葉ロッテ・マリーンズ等でプレイした杉山さんは、現在、北広島市や旭川市で自身の野球教室を運営している

各種大会・表彰

●第45回全日本ジュニアバドミントン選手権

・新人の部 南・北北海道予選会
日 程：8月8日
場 所：稚内市総合体育館
【南北海道男子シングルス】
3 位 藤川 瑛人（銀山中1年）

●教育長杯パークゴルフ大会結果

日 程：8月30日
場 所：コンサドーレ仁木パーク
パークゴルフ場

【男子の部】

優 勝 中村 紀昭
準優勝 門脇 護
第3位 原田 國男

【女子の部】

優 勝 日野 悦子
準優勝 大黒 榮子
第3位 滝上 凌子

町内水泳プールの開設が 終了しました

8月26日に仁木水泳プールの開設を終了しました。夏休み期間中の利用もあり、元気な子ども達の楽しそうな声が役場庁舎まで届いていました。
開設日数は52日で延べ1118人の方が訪れ、今年も多くの皆さまにご利用いただき、ありがとうございました。

仁木町民センター・図書室には45冊、大江地区図書室には6冊、銀山地区図書室には6冊の合計57冊の新刊図書を配架しました。
【新刊図書】▼天国からの宅配便―時を越える約束▼飼犬に腹を噛まれる▼イン・ザ・メガチャーチ▼月がきれいな夜に▼誰かに思い出してほしかった▼なぜ生きる▼虚空蔵の峯▼ママがロックンロールしてたころ他

仁木町民センター図書室
新刊図書配架のお知らせ

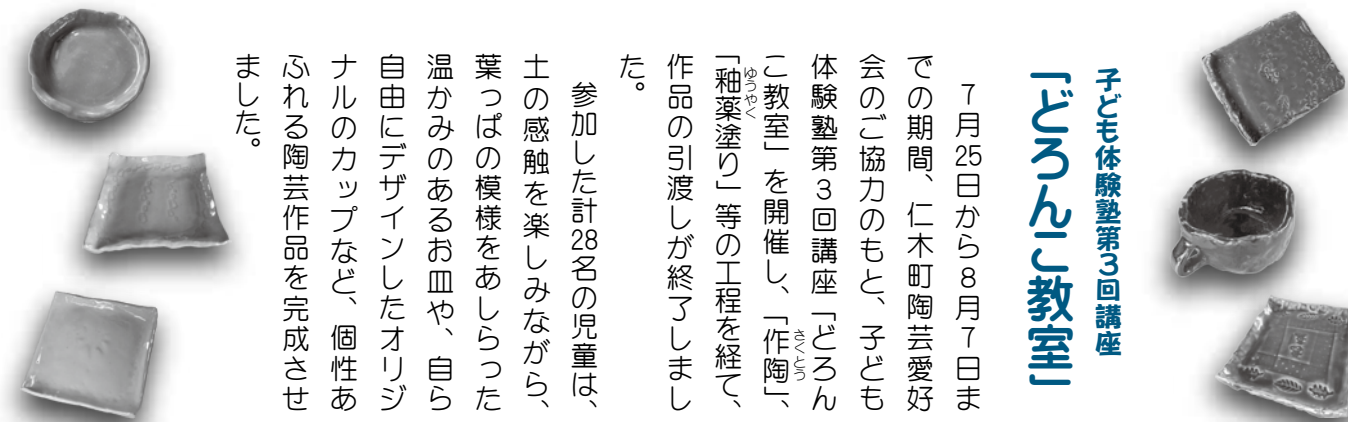


「生きる力」と「ふるさと仁木」への愛情や誇りを 仁木町子ども体験塾

子ども体験塾第3回講座 「どろんこ教室」

7月25日から8月7日までの期間、仁木町陶芸愛好会のご協力のもと、子ども体験塾第3回講座「どろんこ教室」を開催し、「作陶」「釉薬塗り」等の工程を経て、作品の引渡しを終了しました。

参加した計28名の児童は、土の感触を楽しみながら、葉っぱの模様をあしらった温かみのあるお皿や、自由にデザインしたオリジナルのカップなど、個性あふれる陶芸作品を完成させました。



銀山義務教育学校に関する地域説明会を開催しました

8月27日（木）、銀山地区の皆さまにお集まりいただき、今回の銀山義務教育学校建設に係る工事入札が、3工種のうち1工種について不調となったこと、また、再入札を行った場合、工事発注の遅れや建設工事費の増額が見込まれることから、予定していた工事について、やむなく取り止めることとしたこと等について地域説明会を行いました。

地域の皆さまからは、ご意見として、本日の

説明会の内容を、先生や子ども達に分かりやすく丁寧に伝えた上で、施設一体型の小中一貫教育は引き続き進めて欲しいこと、早急に今後の方針を示して欲しいことなどのご意見をいただきました。

今後につきましては、地域説明会での多くのご意見を踏まえ、地域の方々と意見を交わし、銀山地区における学校のあり方について整理してまいります。

児童・生徒作品集 創造

アイパッドの使い方



仁木中学校2年
林 ももか
桃華

私が工夫したことは、色をモニターでまともて、差し色で赤を入れたことです。

ピクトグラムのポーズも脈動感のあるポーズにしました。アイパッドの縁を太くして、目立つようにしました。

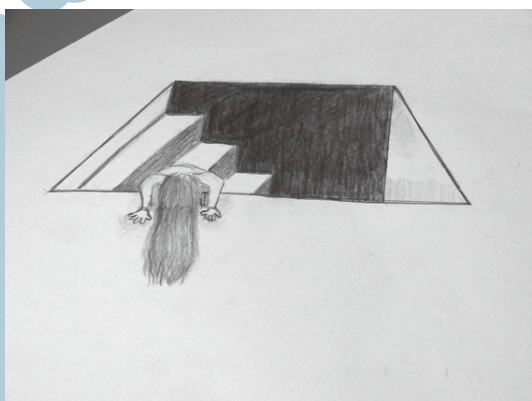
トリックアート



銀山中学校2年
斉藤 ゆう
優生

「机に穴をあけよう」という課題から、階段を作りたいと思いました。そこから人が出てくるような怖い感じの作品を制作しました。

陰影をつけるために色をしつかりと塗らなければいけないのが大変でした。





北海道の「苦情審査委員」制度

☎道政相談センター ☎011-204-5523

- 「北海道苦情審査委員」制度とは、道の機関が行った業務に関する苦情を皆さんに代わって、苦情審査委員が公平で中立な立場から審査する制度です。
- 皆さん自身の利害に関する苦情であれば苦情審査委員に申立てができます。
- 審査の結果、道の業務に不備な点や制度に問題があるときは、道の機関に是正や改善を求めます。
- 申立書は窓口へ持参するほか、郵送、ファックス、メールでも受け付けています。
- 個人情報の保護にも十分配慮します。

【窓 口】

■北海道総合政策部知事室道政相談センター
〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目
TEL:011-204-5523(直通) FAX:011-241-8181
メール:ku.jyou.koueki@pref.hokkaido.lg.jp

自衛官募集

☎自衛隊札幌地方協力本部小樽地域事務所 ☎0134-22-5521

自衛隊では、以下の募集を行います。

- 幹部候補生（一般・専門（陸））**
 - ・応募資格 20歳以上26歳未満の方
 - ・受付期間 9月1日(火)から9月25日(金)
 - ・試験内容 筆記試験、小論文、口述試験、身体検査等
- 幹部候補曹**
 - ・応募資格 20歳以上33歳未満の方
 - ・受付期間 9月1日(火)から9月25日(金)
 - ・試験内容 筆記試験、小論文、口述試験、身体検査等
- 防衛大学校（一般）**
 - ・応募資格 18歳以上21歳未満の方
 - ・受付期間 7月1日(水)から10月15日(木)
 - ・試験内容 筆記試験、口述試験、身体検査等
- 一般曹候補生・2等陸・海・空士**
 - ・応募資格 18歳から33歳未満の方
 - ・受付期間 お問い合わせください
 - ・試験内容 筆記試験、適性検査、口述試験、身体検査等

※陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊には車両・船・飛行機を扱う職種等は100種類以上あります。
試験内容・イベント案内及び各種個別説明など詳しくは、小樽地域事務所までご連絡ください。
そのほか、応募資格等については上記までお問い合わせください。

ニキバスの利用（免許返納者の利用料減免）について

☎企画課未来創生係 ☎32-3953

いつもニキバスをご利用いただき誠にありがとうございます。

運転免許証を返納された方のニキバス利用料減免について、「運転経歴証明書」の取得者のみを減免対象としておりましたが、「運転免許取消通知書（運転免許を返納した際にもらえる通知書）」の取得者も減免の対象となりました。ニキバスの利用に際し、利用料減免を希望される方は、「運転経歴証明書」又は、「運転免許取消通知書」をお持ちの上、企画課未来創生係窓口までお越しください。

その他、詳しい利用方法等については、仁木町HPをご確認いただくか、企画課未来創生係までお問い合わせください。

津波防災地域づくり講演会in岩内

☎北海道建設技術センター ☎011-218-7600

道では、道民の皆様の津波防災対策への理解を深めていただくため、「津波防災地域づくり講演会」を下記のとおり岩内町で行うことといたしましたので、お知らせいたします。

- 日 時** 令和8年10月30日(金)
13:00～15:00（開場12:30）
- 会 場** 岩内地方文化センター（岩内郡岩内町字万代51-7）
※W e b 同時配信
- 講 師** 東京大学大学院情報学環
特任教授 片田 敏孝 氏
- その他**
演 題：「巨大津波想定にどう向かい合うか」
定 員：1,000名（事前申込をお願いします）参加無料
申込は下記URL又は二次元コードよりお願いいたします。
URL：https://www.hoctec.info
申込期間：9月14日(月)～10月13日(火)



- 問い合わせ先**
申込方法：北海道建設技術センター総務部
☎011-218-7600
講 演 会：北海道建設部建設政策局維持管理防災課
施設防災係
☎011-231-4111（内線29-763）



町からのお知らせ

秋さけ密漁防止月間

☎後志総合振興局産業振興部水産課漁業管理係 ☎0136-23-1394

本年も秋さけの来遊期を迎えていますが、この時期における密漁事犯は関係機関の努力にもかかわらず、依然として発生しているところです。

このため、北海道では9月1日～10月31日までの2か月間を「秋さけ密漁防止月間」として、密漁の未然防止のための啓発活動を行うとともに、取締機関や民間団体などと連携しながら、巡回パトロールや指導取締りなどの活動を行っています。

秋さけ資源の保護と密漁の撲滅に向けた取組にご理解いただくとともに、密漁者を見つけた場合には余市警察署や後志総合振興局水産課、余市郡漁業協同組合に連絡するなどご協力をお願いします。

- 余市警察署
☎0135-22-0110
- 後志総合振興局産業振興部水産課漁業管理係
☎0136-23-1394
- 余市郡漁業協同組合
☎0135-23-2131

地域全体で子どもたちを見守りましょう

☎仁木町交通安全推進委員会 ☎32-2511

全国的に、幼い子どもたちが被害者となる痛ましい交通事故等の発生が後を絶ちません。**子どもの交通事故や犯罪被害などを減らすためには、地域全体で登下校中の子どもたちを見守ることが効果的です。一人ひとりが無理なく、できる範囲で実践することで、悲惨な事故が起きにくい環境を創ることができます。**

地域全体で子どもたちを守るためにも、ご協力をお願いします。

誰でも簡単！「ながら見守り」

登下校時に合わせて外に出て花に水やりをする、家の前で掃き掃除をする、犬の散歩をするなど、時間と場所を工夫しながら見守ります。



町が取り組んでいる各種事業・施策や、国・北海道・関係機関からのお知らせなどを紹介します。気になる情報がありましたら、お気軽にお問い合わせください。

受診時はマイナ保険証が資格確認書を

☎福祉課国保医療係 ☎32-2514

従来の健康保険証は令和6年12月2日以降、新たに発行されなくなり、マイナ保険証（健康保険証の利用登録がなされたマイナンバーカード）による資格確認を基本とした運用となっています。

それまでに発行されていた従来の健康保険証の有効期限が終了した以降に、期限切れの健康保険証を引き続き持参してしまった方に対しては、3割等の一定の負担割合を求める暫定的な対応がありました。

この暫定的な対応は本年7月末を持って終了しますので、今後は受診時にマイナ保険証が資格確認書を忘れずに持参してください（場合によっては医療費の全額支払いを求められることがあります）。

仁木町町内会集会施設等補助金

☎総務課総務係 ☎32-2511

町内会が実施する町内会館の整備等（新築・購入・改修・修繕）に対し、必要経費の一部（1/2、上限300万円）を町が補助します。

補助申請は、緊急を要する修繕を除き、前年度に整備等計画書の提出が必要なため、令和9年度整備を予定している町内会は11月2日(月)までに、仁木町総務課総務係までご連絡ください。

LPガス利用者緊急支援事業

☎ 北海道経済部資源エネルギー局 ☎011-204-5886

道では、LPガス料金高止まりの影響を受けているLPガス利用者の皆様の負担軽減を図るため、これまで5回にわたり、LPガス販売事業者の方々が実施する料金値引きを支援してきたところですが、LPガス料金が依然として高い水準で推移していることを踏まえ、このたび、6回目の支援を行うことといたしました。

本事業は、販売事業者からの申請に基づいて支援を行う仕組みとしているため、LPガス利用者の皆様に支援が広く行き届くよう、今回におきましても、販売事業者の方々には積極的に申請していただきますようお願いいたします。

●申請期間 令和8年7月27日(月)～9月30日(水)

※詳しくは北海道LPガス補助金センターへお問い合わせください。

☎0120-576-440（土日祝日を除く。）

自主防災組織について

☎ 総務課防災管財係 ☎32-2511

地震や大雨などに伴う大規模災害時には、停電や道路寸断などにより、消防や行政による支援に時間がかかる場合があります。

そのため、地域住民が協力し、「自分たちの地域は自分たちで守る」という考えのもと活動する「自主防災組織」が重要となります。

自主防災組織では、日頃から連絡体制づくりや防災訓練、防災資機材の備蓄などに取り組み、地域の防災力向上を目指します。

町では、自主防災組織の町内活動カバー率80%を目標に、組織の結成に向けた支援を行っています。

●町の支援内容

- ・自主防災組織等が行う地域の防災活動に必要な施設の整備への補助（30～200万円）
- ・出前講座などによる普及啓発
- ・訓練に係る町内会役員会での説明

個別的労使紛争あっせん制度

☎ 北海道労働委員会事務局調整課 ☎011-204-5667

解雇や賃金未払、ハラスメントなどの労働問題で悩んでいませんか？

北海道労働委員会では、労働問題に詳しい経験豊かな「あっせん員」が、当事者双方からお話を伺い、問題点を整理した上で助言等を行い、歩み寄りによる解決を図る「あっせん」を行っております。「あっせん」の利用は無料で、迅速な解決を目指します。

詳しくは、Webで「北海道労働委員会個別あっせん」と検索していただくか、上記連絡先までお問い合わせください。

交通安全指導員募集（銀山地区）

☎ 仁木町交通安全推進委員会 ☎32-2511

仁木町交通安全推進委員会では、地域の交通安全を守る「交通安全指導員」を銀山地区で募集しています。

交通安全指導員は、街頭指導や学校・保育所での交通安全教室など、交通事故防止に向けた取組を行っています。

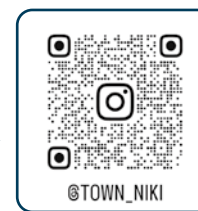
興味のある方や詳細な内容を知りたい方は、上記までご連絡ください。



Instagram



Facebook



町のイベントやお知らせなどを発信しています
フォローよろしくお願いします！



活動レポート

仁木町で活動する

地域おこし協力隊員の取組や活動ピックアップをお届けします

川上 あゆ 隊員
「mel.t.B」をオープンしました。地域の皆さまに気軽に楽しめるお店を目指しています。お一人おひとりに寄り添った丁寧な施術を心がけ、地域の皆さまに愛されるお店となるよう努めています。

齊藤 一 隊員
仁木町の秋を代表する「仁木フルーツ&ワイン」に参加予定です。9月はワイン用ぶどうの収穫のお手伝いがメインとなります。まぶたがよい状態に収穫できることを願っております。

樫木 陽子 隊員
7月からは高密度植栽の視察や農家の訪問など、地元農家のおなすまのお会ひすることができました。7月にはリンゴウォークフェスはあいにくの天気でしたが、多くの参加者と楽しい時間を共有でき、地域との絆が深まる実りある機会となりました。

三島 早貴 隊員
7月は農産物廃棄解決の取り組みに参加し、生産者の想いや町の歴史を学びました。ふるさと納税振興に役立てたいと思います。7月にはリンゴウォークフェスでは実行委員として運営を担い約500名を迎えました。皆様に感謝申し上げます。

越智 文見 隊員
8月は農園研修にて、さくらんぼやブルーベリー、プルーンの摘み取りなど様々な作業を学びました。また、旬の果物を活かせるよう、多様な加工試作にも取り組んでおります。

杉山 徳 隊員
7月30日に開催された「アライグマ捕獲器購入助成金申請」について、申請いただいた皆さま、ありがとうございました。購入後の箱の再利用する際には、送付された標識を事前に貼付して頂きますようお願いいたします。

菅原 展男 隊員
8月30日、無量寿寺の境内にて「炊き出し訓練2026夏」を行いました。今回で二回目となる訓練は、参加された皆さまと、豚汁やおにぎりを作りました。また、北後志消防組合に木支署様の協力により、消火器の取り扱い体験などを行いました。

ダンヒョウチキ 隊員
「ニキコト」クラスの日本語指導・特定技能2号試験対策支援について、8月末で今年度の活動を終了しました。さらに、法務省が実施する「外国人支援コーディネーター養成研修」の受講を開始し、来年2月まで外国人支援に関する専門的な知識や実務について学びます。

松村 孝明 隊員
トマップフォームで、さくらんぼの収穫作業を行いました。また、ワイン用ぶどうの花カス落しや脇芽取り、除葉、誘引、枝回りの草刈り作業に取り組ましました。

服部 高 隊員
7月は農産加工研究会の勉強会・総会を開催しました。ほか、デザイン等の制作を課題として取り組んでいます。江別市にある食品加工等の加工品づくりなどに取り組みました。

福重 めいみ 隊員
ワインアカデミーで道外へワイナリー研修に伺いました。協力の活動の中で取り組んでいる「リズム」に力を入れている生産者の話は大変興味深く聞きました。継続していくことの難しさを感じていましたが、重要さを学びました。

国民年金に関するお知らせ

●障害年金をご存じですか？

障がいの程度や保険料の納付状況など、一定の要件を満たすと障害年金を受けることができます。

障害基礎年金・障害厚生年金を受けるためには、次の3つの要件をすべて満たしている必要があります。

- (1)初診日に年金に加入していること
- (2)一定の障がいの状態にあること
- (3)一定の保険料を納付して（初診日に納付要件を満たして）いること

障害年金を受けるには、本人又は家族による年金請求手続が必要になります。

なお、「障害者手帳の障害等級」と「国民年金厚生年金保険の障害等級」とでは判断基準が異なるため、障害者手帳を受けられない場合（がん等の疾病に起因する障がい等）でも障害年金を受けることができます。

●年金生活者支援給付金制度について

年金生活者支援給付金は、公的年金等の収入やその他の所得額が一定基準以下の、年金受給者の生活を支援するために、年金に上乗せして支給されるものです。

受け取りには請求書の提出が必要です。ご案内や事務手続は、日本年金機構（年金事務所）が実施します。

対象となる方

●高齢基礎年金を受給している方

以下の要件をすべて満たしている必要があります。

✓65歳以上である

- ✓世帯員全員が市町村民税が非課税となっている
- ✓年金収入額とその他所得額の合計が約93万円以下である

●障害基礎年金・遺族基礎年金を受給している方

✓前年の所得額が約492万円以下である

請求手続について

①新たに年金生活者支援給付金をお受け取りいただける方

受け取りの対象になる方には、日本年金機構から9月初旬頃から、請求可能な旨のお知らせを送付します。同封のはがき（年金生活者支援給付金請求書）に記入し提出してください。

令和9年1月4日までに請求手続が完了すると、令和8年10月分からさかのぼって受け取ることができます。請求手続はお早めに。

②年金を受給しはじめる方

年金の請求手続と併せて年金事務所又は市区町村で請求手続をしてください。

年金生活者支援給付金のご請求でお困りになったときには、お電話ください。

『給付金専用ダイヤル』：0570-05-4092（ナビダイヤル）

●日本年金機構や厚生労働省を装った不審な電話や案内にご注意ください

日本年金機構や厚生労働省から、電話でお客さまの家族構成や金融機関の口座番号・暗証番号をお聞きしたり、手数料などの金銭を求めることもあります。

- ☎ 小樽年金事務所 ☎ 0134-33-5026
- ☎ 住民環境課住民係 ☎ 32-2513



余市警察署だより 安心・安全を実践しよう！



◆秋の全国交通安全運動が実施されます◆
9月21日(月)から9月30日(木)までの10日間

●交通事故防止のポイント

- ・ドライバーの皆さんへ
歩行者や自転車を見落としやすくなる夕暮れから夜間にかけての交通事故を防ぐため「スピードダウン」と「安全確認」を徹底しましょう！
- ・歩行者の皆さんへ
ドライバーから早く見つけてもらえるように、外出する時には明るい色の服装や反射材を身に付けて、自分の存在を目立たせましょう！
- ・自転車利用の皆さんへ
自転車運転時は、交通ルールをしっかりと守り安全運転に努めましょう。また、運転中の事故は致命傷になる可能性があります。自転車に乗る時は乗車用ヘルメットを着用しましょう！

仁木町内での人身事故発生状況

区分	件数	死者	負傷者
8月発生件数	2件	0人	2人
R8年累計	6件	1人	7人

交通事故死ゼロの日

R8.3.8～R8.8.31 177日

仁木町公益貢献賞

町では、町内在住55年以上かつ88歳以上の方へ、仁木町表彰条例の規定に基づき、賞状と記念品をお贈りしています。

長年のご功労に感謝するとともに、心よりお祝い申し上げます。

※ご本人の希望により石川様、大野様はご芳名のみ掲載させていただきます。



- ・谷口喜代司 様 (88歳／尾根内)
- ・石川 純一 様 (88歳／南町)
- ・大野 トキ 様 (88歳／東町)

なかよしクラブ・安心警ら隊 防犯功労者表彰・感謝状受賞

なかよしクラブ・安心警ら隊の早坂文治さん（写真中央）が北海道防犯協会連合会防犯功労者表彰を、(故)坂東淑子さん（同右）が札幌方面防犯団体連合会防犯功労者表彰を、塩島晴美さん（同左）が警察署長感謝状を受賞されました。多年にわたる活動に敬意を表するとともに、心よりお祝い申し上げます。



戸籍の窓

●ご冥福をお祈りします

- 田川 純一さん (86歳／西町) 山野井孝子さん (77歳／南町)
- 坂東 淑子さん (80歳／西町) 山川 雅裕さん (74歳／南町)

人口動向		R8.8/31現在 住民基本台帳より () は前月比	
総人口	3,207人 (-6)	男性人口	1,546人 (+2)
世帯数	1,906世帯 (-3)	女性人口	1,661人 (-8)
日本人人口	2,866人 (-6)	男性人口	1,399人 (-3)
世帯数	1,573世帯 (-3)	女性人口	1,467人 (-3)
外国人人口	341人 (±0)	男性人口	147人 (+5)
世帯数	333世帯 (±0)	女性人口	194人 (-5)

くらしの伝言板

善意に感謝

次の方から、本町へ貴重なご寄附をいただきましたのでご紹介させていただきます。

- 坂東弘一（西町）様より ▼金50,000円 ▼町振興目的として

9・10月は「行政相談月間」

行政相談委員は、あなたと行政を結ぶパイプ役です。役所の仕事について困っていること、ご意見・ご要望等がありましたら、お気軽に下記までご相談ください。

●行政相談委員 新藤 昇さん

☎ 32-2313 ☎ 東町9丁目

●総務省行政相談センター「きくみみ函館」

☎ 0570-090110

なお、9月に「特設行政相談所」を開設します。

日程は以下のとおりです。

- ・9月29日(火)
10時～12時 大江コミュニティセンター
14時～16時 仁木町保健センター健康相談室

ふるさと納税 寄附受入額と件数	
●令和8年7月実績 (7/1～7/31)	
金額	41,142,000円
寄附件数	1,798件
●令和8年度累計 (4/1～7/31)	
金額	109,971,600円
寄附件数	4,465件
基金を活用した事業の紹介は、町ホームページをご覧ください。	

まちのカレンダー

- 戸籍、出生・死亡、ごみなどのお問い合わせは 問 住民環境課 ☎32-2513
- 国保、介護、育児、健康相談などのお問い合わせは 問 福 祉 課 ☎32-2514
- その他、行政に関するお問い合わせは 問 総 務 課 ☎32-2511

●令和8年9月							●令和8年10月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
30	31	1	2	3	4	5	27	28	29	30	1	2	3
6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10
13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17
20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24
27	28	29	30	1	2	3	25	26	27	28	29	30	31

●行事名 会 会場 問 お問い合わせ先 ☎電話番号 ㊟メール ㊦当番病院 ㊧歯科当番医 ㊨水道修理

- 9月
- 10(木)
- 広報『仁木』9月号発行 問 総務課 ☎32-2511
- スッキリ運動教室 会 町民センター／第1部：9:30～10:30 第2部：10:45～11:45 第3部：13:30～14:30 問 地域包括支援センター ☎32-3855 ※参加者募集中
- 11(金)
- 運転免許更新時講習 違反講習・初回講習（合同開催）／13:00～ 優良講習／15:30～ 会 余市町中央公民館 問 余市警察署 ☎22-0110
- 12(土)
- 仁木フルーツ＆ワインマラニック2026 会 仁木地区 問 仁木町フルーツ＆ワインマラニック実行委員会 ☎32-3951
- ㊨山地設備 ☎090-3118-4433
- 13(日)
- ㊦中島内科 ☎22-3866
- ㊨合同会社 藤田 ☎080-3268-0706
- 14(月)
- 15(火)
- 16(水)
- 笑っこりクラブ ～おはなし広場 会 社会福祉協議会／13:30～16:30 問 社会福祉協議会 ☎32-3959 ※参加者募集中
- 無料法律相談 会 余市中央公民館／13:00～16:00 問 総務課 ☎32-2511 ※予約制
- 17(木)
- ファミリークッキング 会 保健センター／10:00～ 問 福祉課 ☎32-2514 ※対象者のみ
- 防災行政無線戸別受信機試験放送 ①12:30 ②18:30 問 総務課 ☎32-2511
- 18(金)
- 19(土)
- ㊨野宮管工設備 ☎080-1890-6936
- 20(日)
- ㊦勤医協余市診療所 ☎22-2861
- ㊨長内水道配管 ☎32-2105
- 21(月)
- 敬老の日
- ㊦小嶋内科 ☎22-2245
- ㊨Niki配管設備 ☎32-2647
- 22(火)
- 国民の休日
- ㊦林病院 ☎22-5188
- ㊨関組 ☎22-4782
- 23(水)
- 秋分の日
- ㊦池田内科クリニック ☎23-8811
- ㊨内山設備 ☎23-2634
- 24(木)
- スッキリ運動教室 会 町民センター／第1部：9:30～10:30 第2部：10:45～11:45 第3部：13:30～14:30 問 地域包括支援センター ☎32-3855 ※参加者募集中
- 無料あんしん法律相談 会 社会福祉協議会／13:30～14:30 問 社会福祉協議会 ☎32-3959 ※予約制
- 運転免許更新時講習 一般講習／13:00～ 優良講習／14:30～ 会 余市町中央公民館 問 余市警察署 ☎22-0110
- 25(金)
- 1歳・1歳6か月・3歳児健診、歯科健診 会 保健センター／13:00～ 問 福祉課 ☎32-2514 ※対象者のみ
- 第6回ブックスタート事業 会 保健センター／14:00～ 問 教育委員会 ☎32-3621 ※対象者のみ
- 26(土)
- ㊨高橋配管設備 ☎22-5571

9月

10月

●行事名 会 会場 問 お問い合わせ先 ☎電話番号 ㊟メール ㊦当番病院 ㊧歯科当番医 ㊨水道修理

- 27(日)
- 防災行政無線戸別受信機試験放送／①12:30・②18:30 問 総務課 ☎32-2511
- ㊦黒川町整形外科クリニック ☎22-2447
- ㊨堀川管工設備工業 ☎23-3032
- 28(月)
- 29(火)
- 特設行政相談所 会 大江コミュニティセンター／10:00～12:00・保健センター／14:00～16:00 問 総務課 ☎32-2511
- 30(水)
- 1(木)
- スッキリ運動教室 会 町民センター／第1部：9:30～10:30 第2部：10:45～11:45 第3部：13:30～14:30 問 地域包括支援センター ☎32-3855 ※参加者募集中
- 2(金)
- 北海道対がん協会(特定健診・がん検診) 会 北海道対がん協会札幌がん検診センター 問 福祉課 ☎32-2514 ※予約制
- 3(土)
- ㊨山地設備 ☎090-3118-4433
- 4(日)
- ㊦森内科胃腸科医院 ☎32-3455
- ㊨合同会社 藤田 ☎080-3268-0706
- 5(月)
- 無料あんしん法律相談 会 社会福祉協議会／15:30～16:30 問 社会福祉協議会 ☎32-3959 ※予約制
- 6(火)
- 仁木フルーツの里キッチン料理教室 会 保健センター／10:00～ 問 福祉課 ☎32-2514 ※参加者募集中
- 7(水)
- 離乳食教室 会 保健センター／10:00～ 問 福祉課 ☎32-2514 ※対象者のみ
- 8(木)
- 広報『仁木』10月号発行 問 総務課 ☎32-2511
- 9(金)
- 運転免許更新時講習 違反講習・初回講習（合同開催）／13:00～ 優良講習／15:30～ 会 余市町中央公民館 問 余市警察署 ☎22-0110
- 10(土)
- ㊨野宮管工設備 ☎080-1890-6936
- 11(日)
- ㊦よいち整形外科クリニック ☎48-5000
- ㊨長内水道配管 ☎32-2105

📷 今月の表紙

大江地区に広がる「ひまわりGarden」。地域を元気にしたいー。そんな思いから始まった、地元企業の取組が、夏の仁木町を代表する風景のひとつになりつつあります。太陽に向かって咲くひまわりが、ここを訪れる人々に明るい笑顔を届けています。



▼広報仁木では、広報の表紙を飾る、町内の四季を切り取った写真を募集しています。▼デジタルカメラだけでなく、スマートフォンで撮影いただいた写真でも構いません。▼とっておきの仁木町の写真を、ぜひお寄せください。応募方法など詳しくは、下記までお問い合わせください。



●お問い合わせ先 総務課広報交通係 ☎32-2511

広報仁木表紙写真募集中

体にちよつといい話

福祉課保健係 保健師

もりやさな
守屋早那

SNSで

疲れていませんか？

現在、インターネット上で文章や写真などを通してコミュニケーションをとるSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）は、私たちの生活になくてはならないものになっています。一方で、幅広い年齢層でSNSが利用されるようになり、メンタルヘルスに及ぼす影響が危惧されています。今回はSNSが健康に与える影響についてお話します。

●現状

SNSは情報収集やコミュニケーションのツールとして、いつでも誰とでも繋がれる便利な点があります。一方で、他人の楽しそうな日常や成功体験などと自分を比較することで「自分は劣っている」と落ち込む、話題に乗り遅れないか、「いいね」をもらえるかなどの不安や気疲れ、スマートフォンの画面を見ている時間が増えることにより睡眠時間が減少する、攻撃的な動画やコメントを見ることで、ストレスや不安が増えるなど様々な問題が課題となっています。

最近ではこうしたSNSでの

●SNS疲れの仕組み

脳は無意識に情報の必要性を一つ一つ判断していますが、SNSから絶え間なく流れてくる情報を見続けると、脳が情報を処理しきれない状態になります。この状態は脳のエネルギーを著しく消費するため、感情のコントロール力や思考力、集中力の低下を招くほか、慢性的な不安や不眠を引き起こします。

私たちが強い快感や幸せを感じると、脳内ではドーパミンと



や食事などの時間を削って、SNSを利用してしまつこともあります。

また、「メッセージをもらったらすぐに返信しないといけない」、「友達の投稿には反応しなければいけない」などの気遣いや同調圧力は心理的な負担にもなります。

●予防、解消方法

SNSを開くのが億劫に感じるが見ないと不安、他人の投稿をみてイライラしたり落ち込む、「いいね」の数やメッセージ数が気になる、SNSを利用するために犠牲にしている時間があるなどは、SNS疲れのサインです。まずは自分のSNS利用時間を把握し、通知を必要なものだけに絞る、利用する時間を制限するなど自分でルールを作ったり、運動や読書など別の趣味を見つけることでSNSと上手に付き合い、心身の健康も保ちましょう。